

中東和平プロジェクトin小金井 紛争遺児ら11人が来日

理解し合い、愛をはぐくもう！



来日した遺児らは市民交流会で、小金井市の小学生や高校生と一緒に合唱＝7月31日、中央大学附属高等学校講堂

東和平を願っている。プロジェクト

平和の尊さ実感

市民交流会では、初めに稲葉委員長が「互いに友情をはぐくむには、理解し合うことが大切。憎しみの連鎖を断ち切るときが来た。小金井市民はもちろん、世界中の人が中東和平を願っている。プロジェクトを通して平和の尊さを

実感してほしい」とあいさつしました。来賓として出席した本会の四方八洲男会長は「今年1月に中東を訪れ、私たちの平和への願いを伝えた。現地では『日本こそ中東和平の最高の舞台』と評価を受けた。私たちの活動はささやかだが、現地の人の心を動かしつつある。双方の若者たちの将来に確かな平和を築くため、今後も共に奮闘しよう」と力強いメッセージを発信しました。

また、パレスチナ側の引率者、カリッド・アブアオッドさん(43)は「兄弟2人をイスラエルの空爆で亡くしたが、復讐をしても戻らない。理解し合い、愛をはぐくむことで

イスラエルとパレスチナの紛争遺児を招いて交流する「中東和平プロジェクト」が7月28日から8月2日まで、東京都小金井市を中心に実施されました。今回はイスラエルから5人、パレスチナから4人の高校生と、引率者各1人の計11人が来日。ホームステイや文化体験などさまざまな交流を通して、環境は違っても、平和への願いは共通であることを確認し合いました。

世界連邦宣言

いまひとつの世界を

自治体協新聞

発行 自治体協新聞
世界連邦宣言自治体協新聞
全 国 協 議 会
(事務局=綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL(0773)42-3280
FAX(0773)42-4406

来日、3年ぶりに実現

同プロジェクトは平成15年、綾部市で初めて実施。翌16年からは本会の補助事業として岡山市、徳島市、亀岡市に引き継がれてきました。

「日本こそ中東和平の最高の舞台」と評価を受けた。私たちの活動はささやかだが、現地の人の心を動かしつつある。双方の若者たちの将来に確かな平和を築くため、今後も共に奮闘しよう」と力強いメッセージを発信しました。

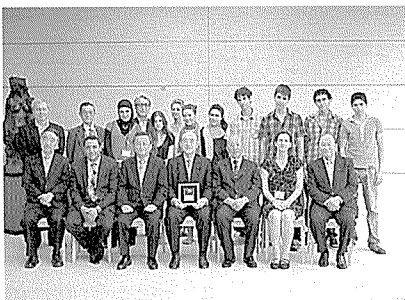
復讐で平和は訪れない

遺児らは8月1日、首相官邸やイスラエル大使館、パレスチナ代表部などを表敬訪問。関係者から激励を受け、翌2日に帰国しました。

本会では今後も、自治体などが実施する同プロジェクトを支援。プロジェクトを継続することで「平和の種」をまき続けていく考えです。



インタビューに答えるイスラエルのノーム・オーレン君=右



首相官邸で記念写真に納まる高校生ら＝8月1日

本会総会も小金井市で開催

平成20年度の本会総会を東和平プロジェクトに合わせ7月31日、小金井市内で開催しました。

総会の冒頭で四方会長が「世界連邦運動は尾崎行雄氏らの積極的な活動により、全国へ広がった。戦後60年余りを経た今、財政難や市町村合併を理由に本会を脱退する自治体があるが、今年4月には高知県四万十町と岡山県倉敷市に入会いただいた。私たちが先人の志を引き継ぎ、今後も頑張っていかなばならない。今年には小金井市でプロジェクトを開催いただき、感謝申し上げます。来日した子どもたちは、和平方への努力を誓い合っており、



総会であいさつする稲葉孝彦・小金井市長 = 7月31日、小金井市市民会館

れるだろう。今後も草の根の活動を続けよう」とあいさつ。続いて稲葉孝彦・小金井市長が開催市として「小金井市での中東和平プロジェクトが平和推進への一助となれば」。世界連邦運動が大きく広がり、1日も早く世界に平和がもたらされることを祈る」と述べました。

来賓として出席した植木光教・世界連邦推進日本協議会会長は「平成17年に国会で世界連邦に関する決議が採択されたほか、昨年はわが国がICC（国際刑事裁判所）に加盟。これらは世界連邦運動の発展によるもの。市町村合併で加盟自治体が減少しているが、今後も加盟自治体が一致団結し、積極的な運動を展開されるよう期待する」とあいさつしました。

この後、前年度の事業報告と決算、本年度の事業計画と予算を原案通り承認。本会監事の畠中一樹・亀岡市副市長が、今年1月に本会の中東和平訪問団の一員として参加したことや、亀岡市の平和啓発事業について報告しました。

加盟自治体の活動④

岡山県・倉敷市

倉敷市は人口約48万人。昭和42年の倉敷、児島、玉島旧三市の対等合併、昭和46、47年の庄村、茶屋町との合併、平成17年の船穂町、真備町との合併を経て、現在に至っています。

倉敷市は人口約48万人。昭和42年の倉敷、児島、玉島旧三市の対等合併、昭和46、47年の庄村、茶屋町との合併、平成17年の船穂町、真備町との合併を経て、現在に至っています。

エル・グレコの「受胎告知」などの美術コレクションで有名な大原美術館がある倉敷川畔周辺の美観地区は、白壁の土蔵づくりの町並みで全国的



倉敷市の美観地区

に知られています。瀬戸内海に面する児島地区は、瀬戸大

橋や内海の多島美が望め、夕日百選にも選定された鷲羽山のある風光明媚な地です。奈良時代の偉人、吉備真備公を顕彰した「まきび公園」や、良寛ゆかりの「円通寺」などもあり、歴史と文化のまちとして、年間700万人近い観光客が訪れます。

また、水島臨海工業地帯があり、製造品出荷額は県全体の54%を占めています。さらに、学生服、ジーンズの産地としても有名です。船穂町では質の高いスイートピーやマスカットを生産。市ではこうした特産品などを「倉敷ブランド」として認定しています。倉敷市では、昭和61年に平和都市宣言を行い「戦災のさ

ろく展」「夏休み平和映画会」「広島平和のバス」「長崎平



「広島平和のバス」では小・中学生が広島を訪問。施設見学などで平和の尊さを学ぶ。



平和学習のため長崎市に小学5、6年生を派遣する「長崎平和大使」

和大使」など、さまざまな平和事業を行ってきました。平成18年4月には「倉敷市国際平和交流に関する条例」を制定。国際交流や国際協力を貢献、多文化共生の推進など、世界平和に寄与する活動や、将来の国際平和交流の担い手育成に向けた取り組みなどを行っています。

こうした中、昨年12月に「世界連邦平和都市宣言に関する請願」が市議会へ提出されました。総務委員会審査後、本年3月、定例市議会で議決され、平成20年3月18日付けで「世界連邦平和都市宣言」を行いました。

今後は、この宣言を契機に、世界の恒久平和のための諸事業に、一層の努力をしていきたいと考えています。